

大分県立三重総合高等学校久住校との取り組み

1. 協定締結(2017年2月)

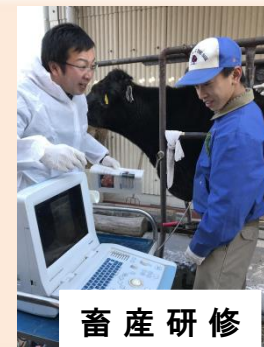
本会は、次世代を担う就農者の人材育成に積極的に取り組むことを目的として、農業科に通う生徒が、より実践的な内容を学ぶことのできる環境を提供するため、大分県立三重総合高等学校久住校と協定を締結した。

2. 取り組みの紹介

学校側と協議のうえ、生徒が将来に生かせる内容のカリキュラムを策定し、実習を含めた出前授業をおこなっている。

【平成29年度の実績】

日付	カリキュラム内容	全農担当部署	備考
9月21日	農機安全使用・セルフメンテナンス研修	農業機械課	コンバイン実機を使用
9月29日	米穀マーケティング研修	米麦課	
12月12日	園芸マーケティング研修(甘太くん)	園芸販売課	「甘太くん」貯蔵施設見学
1月30日	畜産マーケティング&肥育牛超音波画像診断研修	畜産課	生体で実際に体験



大分県立三重総合高等学校久住校との取り組み

3. 平成30年度の新たな取り組み

平成30年度は新たな取り組みとして、「実需者ニーズに対応したキャベツの生産～加工～流通販売の一貫研修」を実施します。

【目的】

近年の消費動向は、家族構成の変化や女性の社会進出等により、サラダやカット野菜の需要が増加している。生産者所得増大をすすめるためにも、「売れるものを作る」という考え方を実践するうえで、将来の就農候補者でもある農業科の生徒に、JA全農おおいたが取り組むカット野菜の販売について、加工用キャベツの生産から加工、製品(カット野菜)の販売まで一連の流れを学習してもらう。

【実施カリキュラム】

NO	カリキュラム	実施内容	備考
(1)	座学授業	近年の消費動向とカリキュラムの目的について説明	平成30年度キックオフも開催
(2)	定植作業	キャベツの定植作業を体験	定植機を使用して作業を実施
(3)	収穫作業	キャベツの収穫作業を体験	加工場に持ち込む原料用キャベツを収穫
(4)	加工施設見学	カット野菜の製造過程を学習	見学先:名水美人ファクトリー株式会社
(5)	店頭販売	カット野菜の店頭販売を体験	12月に実施予定



大分県立三重総合高等学校久住校との取り組み

3. 平成30年度の新たな取り組み(実施風景)

(1)座学授業(キックオフ)

近年の消費動向(サラダやカット野菜の需要増)について説明し、カリキュラムをおこなう目的(意味)を共有した。



(2)定植作業

圃場で実際に定植機を使って、加工用キャベツの定植作業を体験した。



大分県立三重総合高等学校久住校との取り組み

3. 平成30年度の新たな取り組み(実施風景)

(3) 収穫作業

カット野菜の原料となる加工用キャベツの収穫作業を体験した。



(4) 加工施設見学(名水美人ファクトリー株式会社)

カット野菜の加工施設を見学し、製品化される工程を学習した。



地元中学校との取り組み（職場体験）

1. 職場体験をおこなうにあたって

2018年夏、大分市内の中学校から職場体験の受入について要請を受けた。
本会としては初めての試みだが、子どもたちに農業に触れてもらう「場」を提供する目的で職場体験を受け入れることとした。

2. 職場体験の内容紹介

実施時期：2018年9月4日～5日（2日間）

対象生徒：中学2年生4名

実施内容：

【1日目】座学（JA全農の役割等）

○ 職場紹介

- ・ 事前に配布した全農レポートを中心に「JA全農の役割」について説明
- ・ 県本部職員が職場での体験や仕事のやりがいを紹介

○ オリエンテーション

- ・ JA全農に関するクイズ出題
- ・ 大分県産農畜産物の紹介

【2日目】農作業体験

○ カボスの収穫体験

- ・ 生徒たちは別府市の山あい位置する園場でカボス収穫を体験
 - ☛ 生徒のコメント
「収穫作業は楽しかったけど、**毎日収穫する農家さんは大変**だと思った。」
- ・ 同じ園場では福祉施設利用者も収穫作業をしており、生徒はカボスの収穫作業をしながら**農福連携の現場（取り組み）**にも触れた。



